

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社中央経済社 上場取引所 JQ
 コード番号 9476 URL <http://www.chuokeizai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 津原 均 TEL (03)3293-3371
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	2,457	△8.7	147	△60.2	169	△57.2	37	△83.4
21年9月期第3四半期	2,690	△7.8	371	△19.8	395	△18.8	228	△19.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	10	17	-	-
21年9月期第3四半期	60	27	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年9月期第3四半期	4,773		3,720		77.8	995	00	
21年9月期	4,878		3,726		76.3	997	77	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 3,712百万円 21年9月期 3,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	-	-	0	00	13	00
22年9月期	-	-	0	00	-	-
22年9月期(予想)	-	-	-	-	13	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,232	△7.1	133	△63.1	151	△61.5	78	△65.4	20	90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	4,398,464株	21年9月期	4,398,464株
22年9月期3Q	667,577株	21年9月期	667,141株
22年9月期3Q	3,731,018株	21年9月期3Q	3,783,629株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の好調や景気対策で企業収益の回復は見られたものの、雇用情勢は依然として厳しく個人消費は低迷した状態で推移いたしました。

出版業界は、電子書籍が出始めまた企画が当たり好調な企業が一部に見られるものの、全体として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、従前の「実務に真に役立つ」、「読者1人のために」という考えのほか、新たに「視点を変えて」というコンセプトのもと編集企画活動を行い、刊行の遅れが生じないように入稿促進等進行管理に注力いたしました。

また、当社が保有する投資有価証券（㈱みずほフィナンシャルグループ優先株式）の実質価額下落により特別損失51百万円を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,457百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は147百万円（前年同期比60.2%減）、経常利益は169百万円（前年同期比57.2%減）、四半期純利益は37百万円（前年同期比83.4%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

（出版事業）

出版点数に大きな変化はなかったものの、特に目立った売れ筋商品はありませんでした。結果、適正配本を心掛けたものの返品が高まり、売上が減少しました。広告宣伝費等が増加し、販売費及び一般管理費が前年同期を上回りました。

その結果、売上高2,317百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益117百万円（前年同期比65.4%減）となりました。

（出版以外の事業）

広告請負が主な出版以外の事業は、紙媒体への広告が減少するなか、従来の延長線上の営業に終始し、効果的な対策を打つことができませんでした。

結果、売上高は140百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益3百万円（前年同期は営業利益47千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券評価損51百万円等により投資有価証券が52百万円減少したことによるものです。

負債は、1,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が65百万円、賞与引当金が34百万円減少したことによるものです。

純資産は、3,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ220百万円増加し、2,429百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は57百万円（前年同期比37百万円減）となりました。これは主に、法人税等の支払額149百万円、賞与引当金の減少額34百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益118百万円、投資有価証券評価損52百万円、売上債権の減少額63百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は211百万円（前年同期比16百万円増）となりました。これは主に、定期預金の減少額217百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は48百万円（前年同期比98百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額48百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の連結業績予想につきましては、平成22年4月30日に公表いたしました当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,466,873	2,463,966
受取手形及び売掛金	836,928	900,188
商品及び製品	539,887	532,038
仕掛品	44,422	70,974
原材料及び貯蔵品	8,749	5,842
その他	94,649	74,455
貸倒引当金	△6,403	△6,648
流動資産合計	3,985,108	4,040,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	74,611	75,308
土地	376,551	376,551
その他（純額）	10,047	10,812
有形固定資産合計	461,209	462,672
無形固定資産		
投資その他の資産	23,507	23,507
投資有価証券	144,757	197,089
繰延税金資産	77,703	76,686
事業保険積立金	67,915	63,357
その他	17,148	24,361
貸倒引当金	△3,487	△10,224
投資その他の資産合計	304,037	351,270
固定資産合計	788,754	837,449
資産合計	4,773,862	4,878,267

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	598,722	600,160
未払法人税等	1,208	66,638
返品調整引当金	41,652	52,600
賞与引当金	16,098	50,270
その他	195,310	181,096
流動負債合計	852,991	950,764
固定負債		
退職給付引当金	197,105	194,155
負ののれん	3,465	6,931
固定負債合計	200,571	201,086
負債合計	1,053,562	1,151,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,424,851	3,435,430
自己株式	△299,605	△299,433
株主資本合計	3,712,229	3,722,980
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	9
評価・換算差額等合計	—	9
少数株主持分	8,070	3,426
純資産合計	3,720,300	3,726,416
負債純資産合計	4,773,862	4,878,267

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,690,771	2,457,816
売上原価	1,576,832	1,531,604
売上総利益	1,113,939	926,211
返品調整引当金戻入額	—	10,948
返品調整引当金繰入額	2,288	—
差引売上総利益	1,111,651	937,159
販売費及び一般管理費	739,947	789,190
営業利益	371,703	147,969
営業外収益		
受取利息	7,274	4,122
受取配当金	3,582	3,778
受取地代家賃	5,151	5,419
負ののれん償却額	3,465	3,465
その他	5,720	5,327
営業外収益合計	25,194	22,114
営業外費用		
投資有価証券評価損	1,357	690
その他	0	160
営業外費用合計	1,357	850
経常利益	395,540	169,232
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	826
投資有価証券売却益	—	13
特別利益合計	—	839
特別損失		
関係会社清算損	310	—
有形固定資産除却損	204	—
投資有価証券評価損	—	51,565
特別損失合計	514	51,565
税金等調整前四半期純利益	395,026	118,507
法人税、住民税及び事業税	156,499	57,439
法人税等調整額	8,412	18,495
法人税等合計	164,912	75,934
少数株主利益	2,075	4,644
四半期純利益	228,038	37,928

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	395,026	118,507
減価償却費	7,885	6,196
負ののれん償却額	△3,465	△3,465
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,332	△6,981
賞与引当金の増減額（△は減少）	△34,652	△34,172
退職給付引当金の増減額（△は減少）	13,714	2,950
返品調整引当金の増減額（△は減少）	2,288	△10,948
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△13
投資有価証券評価損益（△は益）	1,357	52,255
受取利息及び受取配当金	△10,856	△7,901
売上債権の増減額（△は増加）	△85,486	63,260
たな卸資産の増減額（△は増加）	△79,113	15,795
仕入債務の増減額（△は減少）	22,803	△1,438
未払消費税等の増減額（△は減少）	1,021	△4,802
破産更生債権等の増減額（△は増加）	581	6,736
その他	27,745	3,795
小計	254,517	199,775
利息及び配当金の受取額	11,303	7,352
法人税等の支払額	△170,884	△149,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	94,936	57,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	217,400	217,400
有形固定資産の取得による支出	△2,650	△4,733
投資有価証券の取得による支出	△21,250	—
投資有価証券の売却による収入	—	73
保険積立金の積立による支出	△3,489	△4,557
貸付けによる支出	△3,000	—
貸付金の回収による収入	7,789	3,058
その他	489	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	195,289	211,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△94,917	△172
配当金の支払額	△51,824	△48,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,741	△48,589
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	143,484	220,307
現金及び現金同等物の期首残高	1,900,295	2,209,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,043,779	2,429,473

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

	出版事業 (千円)	出版以外の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,539,738	151,033	2,690,771	—	2,690,771
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	578	87,236	87,815	(87,815)	—
計	2,540,317	238,270	2,778,587	(87,815)	2,690,771
営業利益	340,010	47	340,058	31,645	371,703

(注)1. 当社の事業区分は、事業の種類の種類性を考慮して、出版事業と出版以外の事業とに区分しております。

2. 各事業の主な製品・サービス

- (1) 出版事業……………書籍・雑誌の出版及び販売
 (2) 出版以外の事業……雑誌広告請負代理等、商品カタログ、販売促進用パンフレットの企画・制作、出版物の商品管理、不動産管理・賃貸業務等

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴う出版事業の損益に与える影響は軽微であり、出版以外の事業の損益に与える影響はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

	出版事業 (千円)	出版以外の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,317,216	140,600	2,457,816	—	2,457,816
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	624	88,985	89,609	(89,609)	—
計	2,317,841	229,585	2,547,426	(89,609)	2,457,816
営業利益	117,483	3,215	120,698	27,270	147,969

(注)1. 当社の事業区分は、事業の種類の種類性を考慮して、出版事業と出版以外の事業とに区分しております。

2. 各事業の主な製品・サービス

- (1) 出版事業……………書籍・雑誌の出版及び販売
 (2) 出版以外の事業……雑誌広告請負代理等、商品カタログ、販売促進用パンフレットの企画・制作、出版物の商品管理、不動産管理・賃貸業務等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する支店又は連結子会社がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する支店又は連結子会社がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日）

国内売上のためのため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

国内売上のためのため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。